

博士後期課程

II. 工学研究科の教育課程の編成及び実施に関する方針

工学研究科の各専攻では DP の達成のため、リサーチワークとしての「特殊研究」とコースワークとしての「主要科目」と「特別科目」によって教育課程を編成する。

工学研究科では、「特殊研究」において研究室でのリサーチワーク、産官学連携、国際会議や専門学協会での成果発表などを通じて、学位授与方針で求める能力の育成を図る。その成果としての博士論文公聴会および最終試験において、学位授与方針で求める全ての能力の修得を確認する。

また、高度な専門能力、イノベーション創出能力を修得するために「主要科目（企業価値とイノベーション）」を配置する。さらに、産業界が持つ多様な問題を発見し、それらを解決できる能力を、実践活動を通してより一層高めるために、「特別科目（リサーチインターンシップ）」を配置し、それらの学修成果を厳正に評価して単位を認定する。

II-1. 工学研究科機械工学専攻の教育課程の編成及び実施に関する方針

機械工学専攻では、「特殊研究」において研究室でのリサーチワーク、産官学連携、機械関連分野での国際会議や専門学協会での成果発表などを通じて、学位授与方針で求める能力の育成を図る。その成果としての博士論文公聴会および最終試験において、学位授与方針で求める全ての能力の修得を確認する。

また、機械工学に関する高度な専門能力、イノベーション創出能力を修得するために主要科目を配置する。さらに、産業界が持つ多様な問題を発見し、それらを解決できる能力を、実践活動を通してより一層高めるために、特別科目を配置し、それらの学修成果を厳正に評価して単位を認定する。

II-2. 工学研究科環境土木工学専攻の教育課程の編成及び実施に関する方針

環境土木工学専攻では、「特殊研究」において研究室でのリサーチワーク、産官学連携、機械関連分野での国際会議や専門学協会での成果発表などを通じて、学位授与方針で求める能力の育成を図る。その成果としての博士論文公聴会および最終試験において、学位授与方針で求める全ての能力の修得を確認する。

また、環境土木工学に関する高度な専門能力、イノベーション創出能力を修得するために主要科目を配置する。さらに、産業界が持つ多様な問題を発見し、それらを解決できる能力を、実践活動を通してより一層高めるために、特別科目を配置し、それらの学修成果を厳正に評価して単位を認定する。

II-3. 工学研究科情報工学専攻の教育課程の編成及び実施に関する方針

情報工学専攻では、「特殊研究」において研究室でのリサーチワーク、産官学連携、情報関連分野での国際会議や専門学協会での成果発表などを通じて、学位授与方針で求める能

力の育成を図る。その成果としての博士論文公聴会および最終試験において、学位授与方針で求める全ての能力の修得を確認する。

また、情報工学に関する高度な専門能力、イノベーション創出能力を修得するために主要科目を配置する。さらに、産業界が持つ多様な問題を発見し、それらを解決できる能力を、実践活動を通してより一層高めるために、特別科目を配置し、それらの学修成果を厳正に評価して単位を認定する。

II-4. 工学研究科電気電子工学専攻の教育課程の編成及び実施に関する方針

電気電子工学専攻では、「特殊研究」において研究室でのリサーチワーク、産官学連携、電気電子関連分野での国際会議や専門学協会での成果発表などを通じて、学位授与方針で求める能力の育成を図る。その成果としての博士論文公聴会および最終試験において、学位授与方針で求める全ての能力の修得を確認する。

また、電気電子工学に関する高度な専門能力、イノベーション創出能力を修得するために主要科目を配置する。さらに、産業界が持つ多様な問題を発見し、それらを解決できる能力を、実践活動を通してより一層高めるために、特別科目を配置し、それらの学修成果を厳正に評価して単位を認定する。

II-5. 工学研究科システム設計工学専攻の教育課程の編成及び実施に関する方針

【工学】

システム設計工学専攻では、「特殊研究」において研究室でのリサーチワーク、産官学連携、システム設計工学関連分野での国際会議や専門学協会での成果発表などを通じて、学位授与方針で求める能力の育成を図る。その成果としての博士論文公聴会および最終試験において、学位授与方針で求める全ての能力の修得を確認する。

また、システム設計工学に関する高度な専門能力、イノベーション創出能力を修得するために主要科目を配置する。さらに、産業界が持つ多様な問題を発見し、それらを解決できる能力を、実践活動を通してより一層高めるために、特別科目を配置し、それらの学修成果を厳正に評価して単位を認定する。

【学術】

システム設計工学専攻では、「特殊研究」において研究室でのリサーチワーク、産官学連携、システム設計工学、特に知的創造システム関連分野での国際会議や専門学協会での成果発表などを通じて、学位授与方針で求める能力の育成を図る。その成果としての博士論文公聴会および最終試験において、学位授与方針で求める全ての能力の修得を確認する。

また、システム設計工学、特に知的創造システムに関する高度な専門能力、イノベーション創出能力を修得するために主要科目を配置する。さらに、産業界が持つ多様な問題を発見し、それらを解決できる能力を、実践活動を通してより一層高めるために、特別科目を配置し、それらの学修成果を厳正に評価して単位を認定する。

II-6. 工学研究科バイオ・化学専攻の教育課程の編成及び実施に関する方針

バイオ・化学専攻では特殊研究において、研究室でのリサーチワーク、産官学連携、バイオ・化学関連分野での国際会議や専門学協会での成果発表などを通じて、学位授与方針で謳う能力の育成を図る。

また、バイオ・化学に関する高度な専門能力、イノベーション創出能力を醸成するために主要科目を配置する。さらに、産業界が持つ多様な問題を発見し、それらを解決できる能力を、実践的な活動を通して、より一層高めるために、特別科目を配置する。それらの学修成果を厳正に評価して単位を認定する。

II-7. 工学研究科建築学専攻の教育課程の編成及び実施に関する方針

建築学専攻では、「特殊研究」において研究室でのリサーチワーク、産官学連携、建築関連分野での国際会議や専門学協会での成果発表などを通じて、学位授与方針で求める能力の育成を図る。その成果としての博士論文公聴会および最終試験において、学位授与方針で求める全ての能力の修得を確認する。

また、建築学に関する高度な専門能力、イノベーション創出能力を修得するために主要科目を配置する。さらに、産業界が持つ多様な問題を発見し、それらを解決できる能力を、実践活動を通してより一層高めるために、特別科目を配置し、それらの学修成果を厳正に評価して単位を認定する。

II-8. 工学研究科高信頼ものづくり専攻の教育課程の編成及び実施に関する方針

高信頼ものづくり専攻では、「特殊研究」において研究室でのリサーチワーク、産官学連携、総合工学関連分野での国際会議や専門学協会での成果発表などを通じて、学位授与方針で求める能力の育成を図る。その成果としての博士論文公聴会及び最終試験において、学位授与方針で求める全ての能力の修得を確認する。

また、総合工学（ものづくり）に関する高度な専門能力、イノベーション創出能力を修得するために主要科目を配置する。さらに、産業界が抱える多様な問題を発見し、それらを解決できる能力を、実践活動を通してより一層高めるために、特別科目を配置し、それらの学修成果を厳正に評価して単位を認定する。